

留学報告書



オーランド市街地での友人らとのクリスマスパーティーの帰り道



インターンシップ最終日
エンポーリアムにて



マジックキングダムでの
インターンシップ



フロリダ州立大学の建物



フラミンゴクロスングビレッジ
にて勤務後のキャラクターグ
リーティング

留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名	英文：Florida State University 和文：フロリダ州立大学
留学期間	2023年8月～2024年1月
留学を開始した時の学年	2年生

留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	55万円
宿舍費（1か月あたり）	10万円
食費（1か月あたり）	5万円
通学費（1か月あたり）	0円
教科書代	不明（プログラム開始前に納入した授業料に含まれたため）
渡航旅費	40万円
保険料	5万円
その他（ ）	万円
授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？	
<input type="checkbox"/> 海外送金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> 口座振込 <input type="checkbox"/> その他（ ）	

【フロリダ州立大学（タラハシー）滞在時】	
滞在形態関連（FSU）	
1) 種類	
<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ルームシェア	
2) 部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋	
3) 設備	
<input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> お風呂（浴槽） <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> エアコン <input checked="" type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> ランドリー <input checked="" type="checkbox"/> インターネット環境 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> Studying Room <input type="checkbox"/> 宅配ボックス <input type="checkbox"/> その他（ ）	
4) 住居を探した方法	
<input checked="" type="checkbox"/> 海外留学先大学の指定 <input type="checkbox"/> 海外留学先大学のホームページ <input type="checkbox"/> 留学経験者に聞いて <input type="checkbox"/> 個人的に探した <input type="checkbox"/> その他（ ）	
5) 大学までの利用交通機関と通学時間（片道）	
利用交通機関： <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> 自転車 <input checked="" type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
通学時間（片道）：	
6) 宿泊費は、どのように支払いましたか？	
<input type="checkbox"/> 海外送金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> 口座振込 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
7) 滞在先についての満足度を教えてください。	
<input type="checkbox"/> 非常に満足 <input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> どちらでもない <input checked="" type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 非常に不満	

現地情報（FSU）	
1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？	
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> わからない	
2) 現地で病院にかかったことはありますか？	
<input type="checkbox"/> はい（利用機関名： ） <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	
3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？	
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？	
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ ↳ 「はい」の場合予防接種の種類：麻疹、風疹、おたふく風邪	
5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？	
<input type="checkbox"/> 留学先の友人 <input checked="" type="checkbox"/> 日本にいる友人や家族 <input checked="" type="checkbox"/> 海外留学先大学の先生 <input type="checkbox"/> 海外留学先大学のカウンセラー <input type="checkbox"/> 海外留学先大学の留学担当窓口 <input type="checkbox"/> ホストファミリーや RA（レジデンスアシスタント） <input type="checkbox"/> その他（ ）	
6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？	
授業は基本的に寮の部屋から zoom で受講し、また寮の建物もインターン生限定の建物であったためか、治安は良かった。近くのドラッグストアへの複数人での外出は許可されていたが、記憶が定かであれば夜の 8 時までには寮の建物内にいなければならなかったため、危険はなかった。また昼夜の食事は寮棟から徒歩 10 分ほどの場所にある食堂で行われたが、そこまでの往復に際しては FSU のボランティア学生が	

先導して下さった。
7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？
WIFI 環境および電源が整備されていたため、不便はなかった。
8) 現地での資金調達はどうに行いましたか？
行っていない。保護者から事前に渡された生活費を使用した。
9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていきべき物がありますか？
徒歩 5 分ほどの場所にドラッグストアがあったため、物資には困らなかった。しかし現地の薬が体質に合わない可能性もあるため、薬は余分に持っていきとよい。また時差の関係で食事のない時間に空腹となる可能性もあるため、即席麺やレトルトご飯など、調理器具を使用せず食べられる食品があるとよいだろう。
11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。

渡航について (FSU)

1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？
<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学のピックアップサービス <input type="checkbox"/> 公共交通機関 (バスや電車) <input type="checkbox"/> ホストファミリーのお迎え <input type="checkbox"/> その他 ()
2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？
<input checked="" type="checkbox"/> はい (期間 : 1 週間の滞在中毎日) <input type="checkbox"/> いいえ

【フロリダ ウォルトディズニーワールドリゾート (オーランド) 滞在時】

滞在形態関連 (WDW)

1) 種類
<input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> ルームシェア
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋
3) 設備
<input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> お風呂 (浴槽) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> エアコン <input checked="" type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> ランドリー <input checked="" type="checkbox"/> インターネット環境 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> Studying Room <input checked="" type="checkbox"/> 宅配ボックス <input type="checkbox"/> その他 ()
4) 住居を探した方法
<input checked="" type="checkbox"/> 海外留学先大学の指定 <input type="checkbox"/> 海外留学先大学のホームページ <input type="checkbox"/> 留学経験者に聞いて <input type="checkbox"/> 個人的に探した <input type="checkbox"/> その他 ()
5) インターンシップ先までの利用交通機関と通学時間 (片道)
利用交通機関 : <input checked="" type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> その他 ()
通学時間 (片道) : 30 分
6) 宿泊費は、どのように支払いましたか？
<input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> 口座振込 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (給与から天引き)
7) 滞在先についての満足度を教えてください。
<input checked="" type="checkbox"/> 非常に満足 <input type="checkbox"/> 満足 <input checked="" type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 非常に不満

現地情報 (WDW)
1) WDW や Flamingo Crossings Village 内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> わからない
2) 現地で病院にかかったことはありますか？
<input checked="" type="checkbox"/> はい (利用機関名：AdventHealth Urgent Care Centra-Orange lake) <input type="checkbox"/> いいえ
3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
4) インターンシップにあたり、必須の予防接種はありましたか？
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ ↳ 「はい」の場合予防接種の種類：同上
5) インターンシップ先内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？
<input checked="" type="checkbox"/> インターンシップ先の友人 <input checked="" type="checkbox"/> インターンシップ先の上司・同僚 <input checked="" type="checkbox"/> 日本にいる友人や家族 <input type="checkbox"/> 海外留学先大学(FSU)の先生 <input type="checkbox"/> 海外留学先大学(FSU)のカウンセラー <input type="checkbox"/> インターンシップ先の担当窓口 <input checked="" type="checkbox"/> Flamingo Crossings Village のスタッフ <input type="checkbox"/> その他 ()
6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？
<p>ディズニーパーク内は危険物の持ち込みが禁止されており、喫煙も不可能で、敷地内をくまなくセキュリティが巡回しているため、基本的には治安が良かった。時折激高したゲストがキャストに暴力をふるったり、暴言を浴びせかけることはあったが、そういった場合ですら迅速にセキュリティによって対処される。だが窃盗は日本と比較すると多く、私自身もバックステージで他のキャストに鞆と財布を盗まれた。他にも置いていた上着を盗まれた人の話も聞いたことがある。そういった場合、上司に報告してからセキュリティ等に連絡することになっているが、盗まれたものが帰って来ることはなかった。</p> <p>フラミンゴクロスングスビレッジ（以下、寮と表記）内に関しては、完全には言い切れない側面はあるものの、基本的には治安が良い。寮のスタッフは 24 時間体制で寮の敷地内の監視にあっているし、緊急時に警察に通報できるボタンも敷地中至るところに設置されている。また、近隣に一般の家屋は無く、Target 等周辺施設を利用するのも基本的にはプログラム生のみであったため、深夜に一人で外出しても危険な目に遭ったことはない。しかしながら、シフトの関係で夜中の 2 時や 3 時に帰宅することが多かったが、大麻らしきものを吸っている集団や大声で騒ぎ立てる集団を見かけることは少なくなかった。ルームメイトにもものを盗まれたり、許可なくルームメイトの友人や恋人が部屋に長時間滞在するケースもあったと他の参加者に聞いている。しかし彼らも暴力沙汰に及ぶことはなかったため、米国内部においては比較的治安のよい住居であったのではないかと考えられる。</p> <p>寮や WDW 外のオーランド市街地は、治安が良いとは言いがたかった。大麻の臭いのする人や建物と遭遇することは日常茶飯事で、公共物への落書き、ホームレス、物乞いや勧誘も多い。夜間は特に危険だ。私自身も夜 9 時頃、大規模なファミリー向けショッピングモール前のバス停であったにも関わらず、しつこく薬物を売りつけられそうになったことがある。そのため観光情報サイトや地元のウェブニュースを適宜確認し、危険な地域には近づかないようにするほか、なるべく夜 8 時以降の外出は控えていた。また外出の際は、可能な限り男性や友人複数人と共に行動することを心掛けていた。</p>
7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？
WIFI 環境および電源が整備されていたため、不便はなかった。携帯電は米国のキャリアを契約したが、問題なく使用することができた。

8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？
ディズニー社からの給与
9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていきべき物がありますか？
寮から Walmart や Target というスーパーマーケットへの送迎バスが約 30 分おきに運行されていたため、生活に必要なものは容易に手に入った。また寮から徒歩 5 分程度の場所には小規模な Target があった。FSU の学生情報を使用して Amazon Prime を契約することができ、実店舗で手に入らないものを購入することもできた。また交通費はかかるものの、少し離れた場所にアジアマーケットがあった。 日本から持っていきべきものとしては、体調不良時などの緊急時に調理なしで食べられるお粥やインスタントご飯や粉末状のスポーツドリンクが挙げられる。また茶は現地でも調達は可能だが、高価なうえに日本風の味付けではないことや、輸入から時間が経ち酸化していることが多いため、緑茶やほうじ茶、麦茶等を日本から持っていきよ。食品以外にも、薬品や化粧品、シャンプーなど、使用に際して個人の体質に合うかどうか確認する必要があるものは、1-2 か月分程度持参するとよいだろう。 反対に持っていき必要は無いものもある。先述したスーパーマーケットやウェブサイト等を通じ、醤油、海苔、味噌汁、米、ふりかけ等の物品は容易に手に入るため、無理に日本から持っていき必要はないだろう。またエプコットの日本館では、日本直輸入のお菓子や食品、衛生用品が多く取り扱われている。しかしそうした物品は現地で調達すると高価な場合もある。そのため、事前に米国版の Amazon への登録を済ませ、現地でも手に入るものや価格を確認してから持っていきものを決めることをお勧めする。
10) 滞在費は、どのように支払いましたか？
<input type="checkbox"/> 海外送金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> 口座振込 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ディズニーからの給与）
11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。

移動について (WDW)

1) フロリダ州立大学から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？
<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学のピックアップサービス <input type="checkbox"/> 公共交通機関（バスや電車） <input type="checkbox"/> ホストファミリーのお迎え <input type="checkbox"/> その他（ ）
2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？
<input checked="" type="checkbox"/> はい（期間： 2 日 ） <input type="checkbox"/> いいえ

学習・インターンシップについてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

履修した授業科目名
Global Perspectives: Communication (Intercultural Communication)
授業内容や試験、授業を受けた感想について
FSU で配布された教科書を使用し、Intercultural Communication について Zoom を用いて学ぶ授業。Intercultural Communication という言葉の意味や、実生活で見られる例などの学習を通じ、実際に自分たちが WDW でのインターンシップで経験した Intercultural Communication について省みることができる。また、米国社会にバックグラウンドを持つ同僚やルームメイトに対して文化的なトピックに関するインタビューを行う活動が行われる。各授業の最初に小テストが行われるが、前回の授業内容や予習するよう指示された教科書の範囲内から出題される、ごく簡単なものだ。課題も短いレポートの提出等が殆どだった。国際日本学部の授業と比較すると少々稚拙な内容も含まれるものの、自分の米国での

経験を振り返る良い機会になると感じた。

履修した授業科目名の評価

非常に満足 満足 どちらでもない 不満 非常に不満

履修した授業科目名

Application of Communication Skills (Applied Intercultural Communication)

授業内容や試験、授業を受けた感想について

授業の前半部で、滞在に必要な事務的手続き等に関しての説明が行われ、後半部分のみ講義という形式の授業だった。後半部分の授業内容は Global Perspectives: Communication(Intercultural Communication)と重複する内容もあったものの、基本的には文化研究者の著作物を引用しつつ、「文化」という現象を概観したとき、どのような観点からの分析が可能であるかについての説明がなされた。例として、人々のコミュニケーション手段やそこに見られる精神性の比較がある。テストは初回の授業時にシラバスの内容に関する小テストが行われた他は無かったと記憶している。課題も小レポートの提出というごく簡単なものであった。基本的には寮の会議室を使用して対面で行われたため、明治大学のインターン生が一堂に会する貴重な機会であった。また FSU 滞在時から指導にあたってくださった教員の Robert Hughes 氏と定期的に直接コミュニケーションを取ることができ、プログラム開始時の心境を都度思い出して気を引き締める機会ともなっていた。

履修した授業科目名の評価

非常に満足 満足 どちらでもない 不満 非常に不満

履修した授業科目名

Communication Internship (Intercultural Communication Practicum)

授業内容や試験、授業を受けた感想について

講義形式の授業は行われず、実際の WDW でのインターンシップそのものを授業とみなす講義であった。各ロールの終了時にリーダーによって記入されるロール評価書や、インターンシップを通じて学んだことに関するレポート等の提出によって成績評価が行われた。

履修した授業科目名の評価

非常に満足 満足 どちらでもない 不満 非常に不満

留学体験記

留学しようと決めた理由や、この留学先を選んだ理由

留学をしようと決めたのは、自分の視野を広げたかったためだ。自分はそれまで大学周りや日本国内の物事にしか関心がなかったが、国際日本学部に入ってから国内外を問わず多様な経験をしてきた人たちに多く出会い、自分の視野の狭さを思い知らされたため、留学を決意した。
ディズニーインターンにしようと思ったきっかけは、殆どの留学プログラムが他国で授業を受講するに留まることが多いのに対し、実際に国際色豊かな環境で就労することで、異文化に関する理解を深められるという点が魅力的に感じたためだ。

<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>留学のためにしておいたのは、主要なディズニー作品を英語で視聴し、キャラクターや物語に対する理解を深めておくことだ。また、映画で使用される英語は明瞭に発音されていて、速度もさほど速くないため、TED Talk や BBC News、海外 Youtuber の動画視聴を意識的に行い、実際の会話で用いられる英語のスピード感や発音に慣れていった。</p> <p>しておけばよかったと思う準備としては、業務上必要となることが推測される特殊な英単語に触れておくことだ。例えば、Stanchion(支柱)や Plush (ぬいぐるみ)、Axe(斧)などは、業務上使用される機会は多いものの、日本での英語学習時には殆ど登場しない単語である。私自身、初めてそれらの単語を耳にしたときは、「重要そうではあるが意味は分からない」と戸惑った。そのため、希望ロールに応じて必要となりそうな器具や物の名前は事前に覚えておくと、入社後のトレーニングでの仕事の内容理解がスムーズだ。</p>
<p>留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等</p>	<p>FSU より配布される教科書は、Intercultural communication (すなわち、多様で異なる文化的背景を持つ人々のあいだで行われるコミュニケーション) について詳細な記述があり、授業外でもインターンシップでの自分の経験を内省するのに役立った。また、スペイン語を話すゲストが多かったため、DuoLingo を使用してスペイン語の学習を行っていた。加えて、日本からの観光客向けにディズニーワールドの見所やショーなどを説明したブログ記事や旅行雑誌などは、日本からのゲストが何を求めて来園するかを分析する手掛かりになり、興味深かった。</p>
<p>大学・学生の雰囲気 (職場や同僚の雰囲気)</p>	<p>職場は概ね風通しがよく、同僚もみな気さくで朗らかな人々が多かった。入社したばかりの頃は右も左も分からず、加えて初の海外長期滞在ということもあり極度に緊張していた。しかしトレーナーやリーダーをはじめ、同僚らも私の拙い英語を理解しようとしてくれている姿勢が感じられ、ひどく安心したのを覚えている。彼らはことあるごとに仲間の輪に入れてくれたため、人間関係も良好であった。特に仲の良い同僚とは幾度も一緒に休日に遊びに出かけたり、食事に行ったりした。中には日本人に対する差別意識を持った人々や、あくまでもビジネスライクの関係性を保とうとする人々もいた。しかし彼らも積極的にこちらに危害を加えてくることは無かったため、目立ったトラブルは無かったと記憶している。</p>
<p>滞在先の雰囲気</p>	<p>ディズニー社の管轄する敷地の内部は、世界でも屈指の規模の歓楽地である。このため全体的に日常の忙しさとは無縁の穏やかな雰囲気が漂っていた。日本の場合、ディズニーランドを訪れるゲストは日帰りが殆どで、周辺施設に宿泊する場合であっても長くて 2 日程度の滞在に留まるケースが多い。これに対して WDW の場合、平均して 2 週間程度の長期にわたって滞在するゲストや、年間パスポートを利用して来園する近隣住民が多い。彼らには多くの時間があるため、急いで乗りたいアトラクションや観たいショーに向かう必要が無く、ゆったりと過ごす人々が殆どであった。そうした雰囲気がパーク全体に作用し、「リゾート地」にふさわしいのんびりとした雰囲気が醸成されていたと言えるだろう。労働環境としての WDW を概観する場合にも、効率よりもゲストとの交流を重視する社風や忙しさを厭う米国社会の精神性の影響もあってか、従業員に精神的余裕が生まれやすい環境だったと言える。</p>

<p>留学先における交友関係</p>	<p>個人的には、明治大学の他のインターン生とは殆ど関わり合う機会が無く、他の大学のインターン生や職場の同僚と関わる機会の方が圧倒的に多かったように感じる。職場では国籍や年齢を問わず気さくに接してくれる人々が多かったため、多くの友人を作ることができた。私が特に仲が良かったのはネイティブアメリカンの女性だ。彼女とは休日の度に連絡を取り合い、パーク内外によく遊びに行った。彼女以外とも休日に出かけたり、仕事が終わった後に自宅に招かれて夕食をごちそうになることもあった。</p>
<p>留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと</p>	<p>実際のところ、仕事や日常生活ではそれほど辛いことは無かった。自分の言葉が通じなくとも、「どうすれば通じるか」「もっとよい方法はないか」と模索することを楽しんでた。また元々一人暮らしであったためにホームシックにもならなかった。日本に帰国したいと思ったことはなく、寧ろ新しい環境や異文化を楽しんでいた。</p> <p>しかしプログラム中に唯一帰国したくなかったのが、1月にインフルエンザに罹患したときである。ルームメイトは全くと言っていいほど頼りにならなかった。彼女に発熱のため病院に行く旨を伝えたとこ、「40度くらいで病院に行くなんておかしい」と言われた。彼女はその後にも全く同情的ではなく、動くこともままならない私の枕元にやってきては仕事の愚痴を聞かせてきたり、わざわざ私を起き上がらせてSNSで流行っている動画を見せられたりした。</p> <p>食事に際しても、プログラム終了間際であったために殆どレトルトご飯等が残っていなかったうえ、ルームメイトは先述の通り頼りにならなかったため、自分で用意するほかは無かった。病院には行くことができたものの、事前に日本の保険会社に費用負担の手続きの連絡をしなければいけなかったり、病院を予約するのは電話でなければいけない等、負担のかかる場面が多かった。</p> <p>「頼れる人が身近にいない」「すぐに食べられる、食べ慣れた食料がない」「病院に行くのに手間がかかる」という状況はひどく心細く、それらの条件が全て整っている日本は素晴らしいと感じた。</p>
<p>留学先における学習、課題や試験</p>	<p>月に一度、FSUの講師によって授業が行われるほかは、受けなければいけない授業は無かった。その授業も内容はごく簡単なものではあったが、プログラム中の経験をその都度振り返ることができる良い機会であった。また課題も短いレポートの提出が殆どで、それらが仕事や他の自由時間に波及することはほぼなかったように思う。試験も大掛かりなもの無く、授業中に小テストがある場合がある、という程度のものであった。インターンシップのシフトも負荷のかからない時間が設定されていたため、余暇を利用して各々の学びたいことを学習する時間も十分に与えられていた。</p>
<p>大学外の活動（課外活動や自由時間など）</p>	<p>先述した通り、休日や余暇時間は十分に与えられていた。そのため、入社後に貰えるフリーパスを利用してパークにすることが多かった。また、近隣にはSeaWorldやUniversal Studio Orlando等の世界規模のテーマパークや、マイアミやタンパ等ビーチがあったため、そこに出かけることもあった。</p> <p>自主的に学習を行う機会も、寮によって多分に提供されていた。例えばディズニーパークやアトラクションの起源や裏側を探る講座が定期的に開催されていたり、就職に関係する情報（履歴書の書き方やプログラム後に就職できるディズニー施設の案内等）も提供されていた。またディズニー社はVoluntEarという独自のボランティア団体を有しており、その活動に参加することもできた。</p>

<p>留学を志す人へメッセージやアドバイス</p>	<p>ディズニーといえば、夢と魔法の光あふれる世界。それに憧れてこのプログラムに応募する人が多いでしょう。私もその一人でした。しかし働くとなれば、大変な場面や辛い瞬間もたくさんあります。でも、降ってきた全てのチャンスを逃さず、自分からもどんどん新しいことに挑戦するマインドを持っていれば大丈夫です！WDWでの経験は、あなたの人生に素晴らしい「魔法」を掛けてくれます。行か迷ったら絶対に行くべき。</p>
<p>就職活動について</p> <p>就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。例えば、留学前や留学中の就職活動へ向けた準備や、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。</p> <p>※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。</p>	
<p>私は今度の春で3年生になり、本格的な就職活動はこれから行う。今回のインターンシップでは、実際に世界規模の企業で労働することができるので、「仕事」に対する意識は変わったように思う。私はそれまで、仕事の場に消費者意識を持ち込むべきではないとおもっていた。今回のインターンシップを通じ、「消費者」としての目線は持っていても良く、むしろ「生産者」としての目線を組み合わせることで、最大限の利益が生まれうると気が付いた。</p> <p>私が今回のインターンシップ先を選んだのは、子どものころからの「ディズニー」という魔法の世界への憧れのためだ。そのためインターンシップ開始時は「テーマパークの裏側が見られる」「憧れの場所に毎日入り浸って働ける」という事実にばかり固執し、完全なる「消費者」として働いていたように思う。だが次第に、ゲスト個々人が来園に至った事情に興味を惹かれるようになった。彼らの来園理由は、ハネムーンや家族旅行、誕生日祝いなど様々だった。中には「人生で一度は来てみたかった」と語る初来園の老夫婦や、病気で普段は寝たきりの子どもを楽しませるために来園した家族もいる。そういったゲストに共通していたのは、「一回きりしかない特別な時間を過ごすために来園した」という点だ。そういったゲストの話を聞くうち、「わざわざお金と時間をかけて来園した人々の体験を、より特別で、忘れがたいものにするにはどうすればよieldろうか」と「生産者」の目線から考えるようになった。</p> <p>その目的を達成する手段として、周囲のキャストや上司の行動を観察するようになった。彼らは「生産者」として自分が出来ることと出来ないことや、「仕事上のサービス」として提供することが許容されるものとされないものに関する知識が豊富だった。その知識に「消費者」としての「自分がゲストであったならどうしてくれたらうれしいか」という目線をすり合わせ、最良の結果を出すことに長けていた。例としては、パレードのVIP 観覧エリアに空きがあった場合、誕生日を祝う家族連れや、記念日ではあるが良い観覧場所が見つからず困っているゲストを探し出し、VIP エリアに彼らを通じたことがある。また、複数本を束ねて販売しているキャンディの一本が割れて、その束全体が売り物にならなくなった際、割れていないキャンディを泣いている子どもに渡しているキャストもいた。それらの様子を見て、私は「せっかく来園したのだから楽しく過ごしたい」というゲストの気持ちにいち消費者として共感し、「生産者」として自分が出来ることを最大限に模索することの重要性を学んだ。</p>	